

町の生活情報紙

- HIDE PUBLIC RELATIONS -

広報

いいいで

4

09, April

2009

Vol.985



**「広報いいいで」は装い新たに
フレッシュにスタート！**

CONTENTS

特集◎ひと目でわかる！役場利用ガイド
トップ・インタビュー佐藤晴樹教育長に聞く
画家沖津信也氏飯豊の「美」を語る

- 03 特集ひと目でわかる！役場利用ガイド
各部署はどの建物にあって、何を担当しているのか／職員はどのように配置されているのか
- 08 町内小・中学校教職員の異動／新しい町職員の紹介
- 09 トップ・インタビュー 新教育長に聞く
- 10 平成21年度町政と予算
施政方針／重要施策／予算
- 14 クローズアップ
長沼奈美さん・花子さん親子／長期山村留学生修了式
- 16 町の話
町民スポーツセンターにAED設置／SNOWえっぐフェスティバル実行委員会やまがたゆきみらい大賞を受賞ほか
- 18 まちかどNEWS
いいで学講座「地域の自立と協働」活動団体報告会／大黒舞交流会／飯豊町酪農組合婦人部健康教室ほか
- 20 直伝おふくろの味
大根のしょう油漬け・國分トモさん
- 21 子育てファイル／あ～す図書室情報
- 22 瞳輝くめざみっ子たち（中津川小中）／小白川獅子連子ども獅子育成講座
- 23 前略ふるさと様／随想町長の見て歩る記
- 24 お知らせ／戸籍の窓／人の動き／編集後記
- 26 スペシャル・インタビュー 画家沖津信也氏
飯豊の「美」を語る
- 28 未来につなぐ～いいでの美しさをいつまでも～



飯豊町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。これからも美しい景観と里山文化に磨きをかけていきます。

町のホームページから

さらに情報を！

町からのお知らせ情報は、
飯豊町ホームページ www.town.iide.yamagata.jp
でも紹介しています。

知りたい情報は、「検索キーワード」を、ホームページの検索ボックスに打ち込んでください。当該ページへ簡単に移動することができます。

こちらのボックスに「検索キーワード」を打ち込んでください。



表紙

今月の

親子

中在住

菅野衆治さん (34歳)
絵美さん (26歳)
真央くん (4歳)
倅成くん (3歳)
央丞くん (幼月)



左から絵美さん、央丞くん（手前）、真央くん（奥）、衆治さん、倅成くん

衆治さんは、ホテルフォレストいいでの料理長。仕事柄休みは不規則で、帰りが遅いのは当たり前。なかなか子どもと一緒に過ごす時間をとれないのが悩みです。でも長男真央くんに将来の夢を聞くと「料理を作る人！」しっかりパパの背中を見えています。

特集

ひと目でわかる！ 役場利用ガイド



点在する町の施設。部署も様々あってわかりにくい。そんな声にお応えし、平成21年度の町の組織体制を施設ごとにわけて、町民の皆さんへお知らせします。どうぞご利用ください。

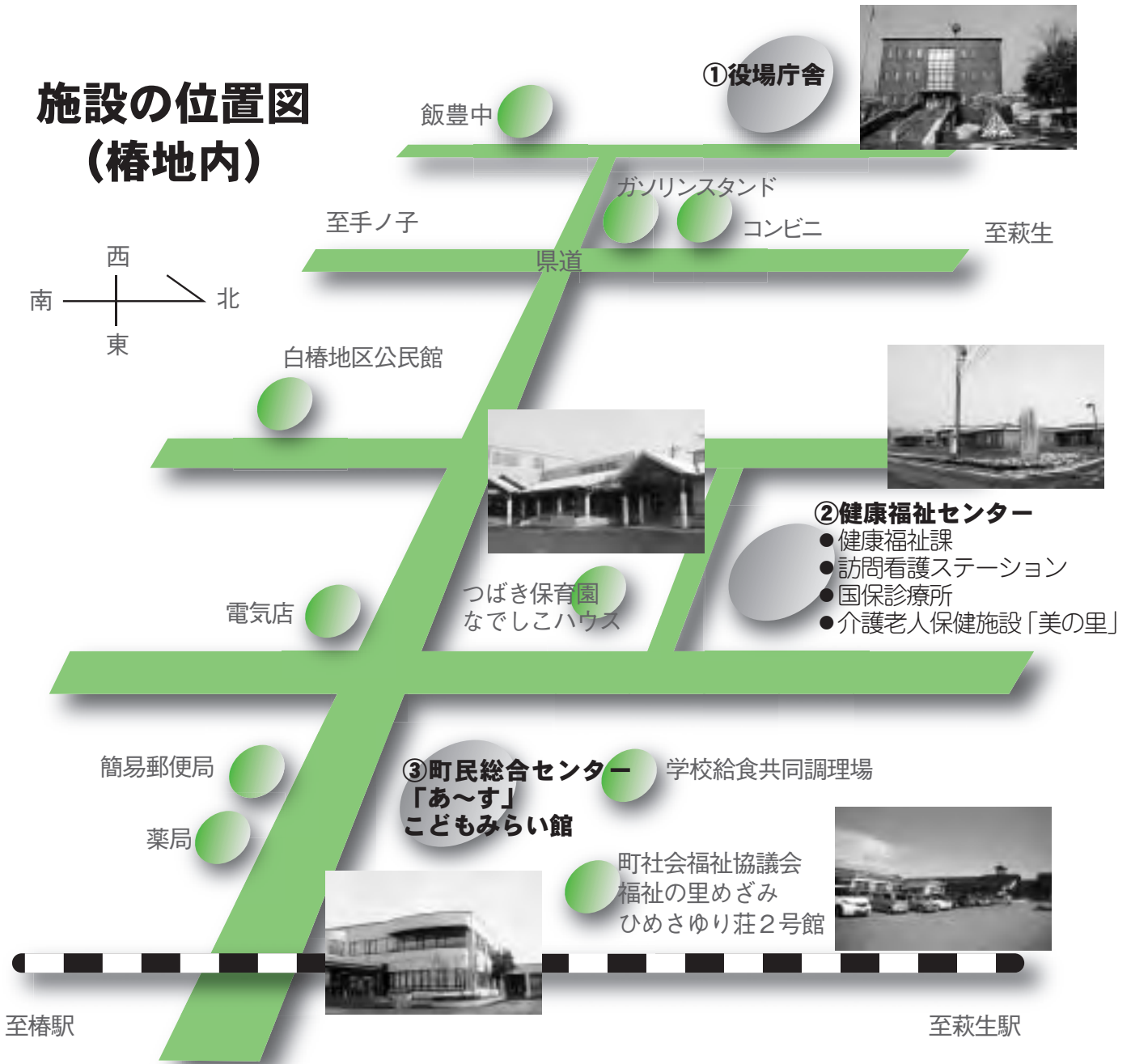
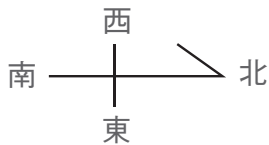
FILE ①

各部署はどの建物にあって、何を担当しているのか（4－5ページ）

FILE ②

職員はどのように配置されているのか（6－7ページ）

施設の位置図 (樺地内)





呼び鈴
(説明下記)

役場庁舎

TEL 72-2111(代) FAX 72-3827

Check

3 ページ
地図①

3階

【議会事務局／監査委員】

2階

【総務企画課】

総務情報室、プロジェクト推進室、総合政策室

【産業振興課】

農業振興室、農林整備室、商工観光室、農地管理室

【農業委員会】

1階

【住民税務課】

住民室、生活環境室、税務室、納税支援室、会計室

【地域整備課】

建設室、上下水道室

【教育委員会・教育文化課】

学校教育振興室、生涯学習振興室、子育て支援室

役場内にある部署の主な業務担当

住民税務課 1階

住民室／戸籍、住民基本台帳、外国人登録、印鑑登録、埋火葬の許可、国民健康保険、長寿（後期高齢者）医療、国民年金

生活環境室／消防、防災、防犯、山岳遭難、交通安全、環境衛生・保全、廃棄物処理、住民相談、墓地、犬の登録、公共交通、消費者行政

税務室／住民税、国民健康保険税、固定資産税、軽自動車税

納税支援室／町税の納税支援

会計室／公金支払い、現金の出納、物品の管理、指定金融機関

地域整備課 1階

建設室／道路、橋梁、河川、町道、町営住宅、危険区域住宅の移転、公共インフラ災害復旧工事、除雪

上下水道室／水道、水道料金、水道開栓・閉栓、農業集落排水、農業集落排水使用料、合併浄化槽

教育委員会・教育文化課 1階

学校教育振興室／教育、学校、スクールバス、学校給食、奨学金

生涯学習振興室／社会体育、生涯スポーツ・学習、町史、文化財、町スポーツ大会、青少年健全育成

子育て支援室／子育て支援、幼稚園、保育園、児童虐待防止

※まちづくり室は町民総合センター「あ〜す」内

総務企画課 2階

総務情報室／町長秘書、広報、選挙、部落、陳情要望、入札、情報化、町有財産、条例、職員管理、統計

プロジェクト推進室／にぎわい再現

総合政策室／総合計画、財政、予算、

地域づくり支援、土地利用、広聴

産業振興課 2階

農業振興室／農業振興、生産調整、農業経営、畜産振興、地産地消

農林整備室／農地保全、農村環境整備、財産区、林業振興、山林保全、治山、治水、砂防

商工観光室／商業、工業、観光、雇用、労働者、観光開発、特産品、観光物産、第3セクター、自然公園

農業委員会 2階

農業委員会・農地管理室／農業委員、農地の権利、農地転用、農業者年金、新規就農支援、担い手

議会事務局・監査委員 3階

町議会、町行政と財務の監査

足の不自由な方へ
「呼び鈴」
をご利用ください

階段がとても多い役場庁舎。足の不自由な方や高齢者の方には大変ご不便をかけています。正面の郵便ポストのそばに「呼び鈴」がありますので、どうぞお呼びください。職員が目的の部署までご案内します。



健康福祉センター

介護老人保健施設
「美の里」

国保診療所

【健康福祉課】

健康医療室、福祉室
地域包括支援センター
訪問看護ステーション

Check

3ページ
地図②



健康福祉課の主な業務担当

健康福祉課

健康医療室／医療、健康推進、健康診断、予防接種、母子保健、
感染症予防、食生活改善

福祉室／高齢者福祉、障がい者福祉、生活保護、介護保険

地域包括支援センター／高齢者総合相談窓口、介護予防

訪問看護ステーション／訪問看護（主治医の指示による療養上の
世話・診療補助）

- 健康福祉課
福祉室・地域包括支援センター
☎86-2233 ☎86-2230
健康医療室 ☎86-2338 ☎86-2230
- 訪問看護ステーション
☎86-2232 ☎86-2229
- 国保診療所
☎72-2300 ☎72-3375
- 介護老人保健施設「美の里」
☎86-2117 ☎86-2118

町民総合センター

【教育文化課】
まちづくり室

Check

3ページ
地図③



まちづくり室の 主な業務担当

教育文化課

まちづくり室／町民総合センター運営、
音楽からのまちづくり、文化振興、
芸能、めざみの里まつり

- 町民総合センター「あ～す」
まちづくり室・図書室
☎72-3111 ☎72-3163
- こどもみらい館
☎72-3336

されているのか ~平成21年度の新体制~

平成21年4月1日現在

健康福祉センター

- 健康福祉課
福祉室・地域包括支援センター ☎86-2233
健康医療室 ☎86-2338 とともに ☎86-2230
- 訪問看護ステーション ☎86-2232 ☎86-2229
- 国保診療所 ☎72-2300 ☎72-3375
- 介護老人保健施設「美の里」
☎86-2117 ☎86-2118



健康福祉課・地域包括支援センター

健康福祉課



課長 舟山直志

- (兼)訪問看護ステーション所長
- (兼)国民健康保険診療所事務長
- (兼)国民健康保険診療所附属中津川診療所事務長
- (兼)地域包括支援センター所長
- (兼)介護老人保健施設事務長

介護老人保健施設

- 事務長補佐 渡部恵介
- 療養専門員(嘱託) 井上民子
- 介護支援専門員 原田直美
- 主任看護師 峯村智美
- 看護師 手塚優子
- 主任理学療法士 井上由香
- 作業療法士 木村康之
- (兼)主事 鈴木忍

健康医療室

- 室長 伊藤紀代子 (昇)
- 主査 手塚満世子
- 主任保健師 渡部真知子
- 保健師 遠藤悦子
- 保健師 鈴木崇文 (新)

福祉室

- 室長 横澤吉和
- 主査 手塚賢太郎
- 主任 細谷美佳
- 主事 嵐正人

訪問看護ステーション

- 管理者(嘱託) 波田野直子 (新)
- 看護師 鈴木優子
- 看護師(嘱託) 嶋貫玲子
- 看護師(嘱託) 河井祐子

地域包括支援センター

- 所長補佐 志田庸子 (昇)
- 主任(兼)社会福祉主事 渡辺裕和

国保診療所

- 主任看護師(派遣) 遠藤とも子
- 主事 鈴木忍

総務企画課付



課長 船山高利 (昇)(異)

置賜広域病院組合派遣

置賜広域病院組合派遣

室長 鈴木正之

主事 島貫貴



課長 小松一芳

町社会福祉協議会派遣

学校給食共同調理場

- (兼)場長 嶋貫吉晴
- 調理長 宇津木二郎
- 学校栄養士 山口薫 (派)
- 調理師 島田章久
- 調理師 五十嵐信子

保育園・幼稚園

(教育文化課子育て支援室所管)

つばき保育園

- 園長 鈴木真理子
- 主査 長岡とし子
- 主査 井上弘子
- 主任保育士 八島秀子
- 主任保育士 遠藤理恵子 (異)
- 主任保育士 高世恵美子
- 調理師 渡辺豊子

さゆり保育園

- 園長 菊地文子
- 主査 渡部銘子 (昇)
- 主査 館石みゆき (異)
- 主査 鈴木美紀子 (昇)
- 主任保育士 佐藤麻理子
- 主任調理師 長谷崎まさよ

いいで中部幼稚園

- 園長 須貝喜代子
- 主任教諭 後藤恵美子 (異)
- 教諭 志田登紀子

手ノ子幼稚園

- 園長 横澤喜美子 (異)
- 主査 藤川典子 (昇)
- 教諭 岡田恵美

添川児童センター

- 館長 熊野伸子 (昇)
- 主任児童厚生員 長沼静子
- 主任児童厚生員 伊藤やよい (異)

町民総合センター

(併)所長 嶋貫吉晴

☎72-3111

☎72-3163

まちづくり室

- 室長 伊藤毅
- 主事 鈴木朋恵
- 主事 本間和宏 (異)

学校技術職員

(教育文化課学校教育振興室所管)

- 第一小 菅野学
- 手ノ子小 赤間武
- 飯豊中 木村和弘

中津川診療所

☎77-2330

☎77-2502

- 所長 安達敦彦
- 主任看護師(派遣) 渡部みえ子
- (兼)主事 鈴木忍

平成20年度退職職員

- 3月31日をもって、次の方々が退職されました。
- 海老名慎一郎 (教育委員会教育長)
 - 五十嵐浩太郎 (国民健康保険診療所所長)
 - 舟山春敏 (会計管理者)
 - 島貫一郎 (総務企画課付課長)
 - 渋谷敏子 (健康福祉課健康医療室長)
 - 安部美知夫 (総務企画課総務情報室運転長)
 - 安部晴男 (総務企画課総務情報室車両整備長)
 - 大谷部昌浩 (産業振興課農林整備室主査)
 - 小野明彦 (教育文化課学校教育振興室指導主事)

(昇)昇任 (異)異動による配属 (派)山形県または県教育委員会派遣 (新)新採 ※上記には、臨時職員は含まれていません



役場庁舎

TEL 72-2111(代) FAX 72-3827



役場 1階

会計管理者



伊藤賢一 (異)

住民税務課



課長 加藤正二 (異)

住民室

室長 立石美智雄
主査 鈴木頼子
主査 後藤美和子
主査 後藤智美
主事 島貫美里
主事 井上克行

生活環境室

室長 手塚幸一
主査 山口努 (異)
主査 志田ちあき
主事 井上雄俊

税務室

室長 渡部勢津子
主査 渡部博一
主事 船山智香子
主事 船山泰宏 (異)
主事補 井上優里 (新)

納税支援室

室長 遠藤純雄 (異)
主任 館石修
主事 長岡智子
嘱託 大澤昭弘 (新)

会計室

室長 手塚かずみ
主任 五十嵐恵美 (異)

地域整備課



課長 佐藤正俊

建設室

室長 佐藤誠一郎
主査 竹田裕一
主査 渡部和浩 (異)
主査 上田信幸
主任 小松絵美
技師 井上友和 (異)
技師 坂爪稔

上下水道室

室長 佐藤秀悦
主査 渡部忠善
主査 高橋成樹
主任 宮川千鶴子
技師 伊藤貴広

教育委員会



教育長 佐藤晴樹 (新)

教育文化課



課長 嶋貫吉晴 (異)

学校教育振興室

室長 齋藤隆
指導主事 佐藤健 (異)
主任 佃典子
主事 長岡佳奈 (異)
嘱託 手塚娃子
嘱託 クリサンタパティオ

生涯学習振興室

室長 手塚秀幸
主査 伊藤敏英
嘱託 菅野邦彰 (新)

子育て支援室

室長 古川正次郎
主査 渡部順子 (異)
主事 遠藤克之 (異)

※まちづくり室は、
町民総合センター
「あ〜す」内

役場 2階

総務企画課



課長 嘉藤輝雄

総務情報室

室長 伊藤勝昭 (異)
主査 高橋弘之
主査 手塚寿子
運転長 渡部勇一 (異)
主任 金田正寿
主任 横山昌則 (異)
主事 横澤剛 (異)
主事 松田典子

プロジェクト推進室

室長 安部信弘 (異)
主事 渡部賢一 (異)

総合政策室

室長 後藤洋
主査 志田政浩
主査 鈴木祐司
主査 竹田辰秀 (異)
主事 船山真紀 (異)

政策調整担当



課長 嘉藤正憲



課長 山口四郎祐衛門

農業振興室

室長 川崎祐次郎 (異)
主査 高橋もと子
主査 伊藤芳典
主事 佐藤智昭
主事 木村辰司
主事補 舟山正貴 (新)

農林整備室

室長 後藤圭一
主査 齋藤浩
技師 鈴木直記

商工観光室

(副)室長 嘉藤正憲
主査 安部吉郎 (異)
主事 勝見賢太郎 (異)
主事 井上由佳

農地管理室

(副)室長 大友俊治 (異)
主任 大谷部良明

農業委員会



事務局長 大友俊治 (異)

農業委員会

(副)主任 大谷部良明

役場 3階

議会事務局



局長 那須隆 (異)

議事室

室長 宇津木耕一
主任 色摩里香 (異)

監査委員

監査室

(副)書記長 那須隆 (異)
(副)室長 宇津木耕一
(副)主任 色摩里香 (異)



議会事務局・監査委員

(異)…昇任 (異)…異動による配属 (異)…山形県または県教育委員会派遣 (新)…新採

※上記には、臨時職員は含まれていません

教 職 員 の 異 動

学校名	転 出				転 入			
	発令	現職名	氏 名	新任校名	発令	新職名	氏 名	前任校名
第一小	転任	教頭	鈴木和夫	伊佐沢小(長井)	転任	教頭	梅津英幸	鮎貝小(白鷹)
	転任	教諭	梅津美智子	長井小(長井)	転任	教諭	鈴木くみ子	沖庭小(小国)
	転任	教諭	沼澤理恵子	沖郷小(南陽)	新採	教諭	土屋美保	
	転任	教諭	佐藤千明	糠野目小(高島)	転補	養護教諭	遠藤祐子	手ノ子小
	転任	養護教諭	竹田君子	長井南中(長井)				
第二小	新採	教頭	鈴木正人	北部中(小国)	転補	教頭	小松俊行	添川小
	転任	教諭	鈴木成子	致芳小(長井)	転任	教諭	向田憲子	東根小(白鷹)
	転任	教諭	鈴木美香子	西部小(米沢)				
手ノ子小	転任	教頭	小林 仁	鷹山小(白鷹)	転任	教頭	船山 泉	明安小(金山)
	転任	教諭	小松喜代子	赤湯小(南陽)	転任	教諭	高橋礼子	長井小(長井)
	転補	養護教諭	遠藤祐子	第一小	新採	養護教諭	佐藤 瞳	
添川小	転補	教頭	小松俊行	第二小	新採	教頭	梅津靖雄	添川小
	新採	教諭	梅津靖雄	添川小	転任	教諭	竹田 洋	鮎貝小(白鷹)
	転任	教諭	鈴木博之	致芳小(長井)				
	転任	教諭	井上千恵美	梨郷小(南陽)				
中津川小	転任	教諭	菊地洋子	伊佐沢小(長井)	転任	教諭	色摩博昭	伊佐沢小(長井)
	転任	教諭	高橋和彦	長井小(長井)	転任	教諭	土屋 学	玉川小(小国)
飯豊中	退職	校長	佐藤晴樹		転任	校長	菅 美登	叶水中(小国)
	転任	教諭	星野一浩	長井南中(長井)	転任	教諭	新野幸博	小国中(小国)
	転任	教諭	天野義史	小国中(小国)				
	転任	教諭	佐藤隼人	長井北中(長井)				

新 規 採 用 新 しい 町 職 員 の 紹 介



STUDY
保健師 鈴木宗文
 (配属/健康福祉課)

1978年1月生まれ。川西町在住。01年秋田桂城短期大学卒
 「町外出身者ですので、飯豊町のことを一からしっかり勉強し、がんばります」



EFFORT
主事補 井上優里
 (配属/住民税務課)

1988年10月生まれ。高峰在住。09年會津大学短期大学部卒
 「住民の皆さんのために精一杯がんばりますので、よろしく願います」



SMILE
主事補 舟山正貴
 (配属/産業振興課)

1984年7月生まれ。小白川在住。08年山形大学卒
 「豊かなまちづくりのため、笑顔でがんばりますので、よろしく願います」

教育長 佐藤晴樹

子どもたちに「夢」を 学校には「自信」を 町民には「希望」を

4月1日に飯豊町教育委員会教育長に就任した
佐藤晴樹氏に心境などをインタビュー

—教育長に就任されての心境はいかがですか？

とても光栄です。またその反面、責任の重さに身の引き締まる思いです。町の教育の充実と振興に精一杯努力します。子どもたちには「夢」、学校には「自信」、町民には「希望」を与えられる教育の実現が目標です。

—今の教育現場の課題は何だと認識していますか？

子どもが学校で養うべきことに「かっこさ」「思いやり」「たくましさ」があると思いますが、全国的に見るとそのバランスを取りにくい状況になってきていると感じています。モンスターパーアレントと言われる事例もその一つです。しかし、本町の場合は幸いにして保護者の皆さんの学校に寄せる信頼

は厚く、その事態の心配はありません。その信頼関係を守っていくことも、教育委員会の役目だと思っています。

—飯豊町の子どもたちの特性はどんなところだと思いますか？

指導を素直に受け入れるところが飯豊の子どもたちの良さだと思います。さらに素直だけではなく、自分の目標を高めてひたむきに努力する子どもも多いです。学校は、組織として、個々の教師としても、そのことを肝に銘じて生徒と向き合い、誇りと責任をもって教育の充実に向けてもらいたいです。

—少子化による児童・生徒数の減少が深刻化していますが、どう受け止めていますか？

残念ながら学校が子どもを増やすことはできません。子どもの数が少ないという現実の中で、どう

やって学校が多様性を生み出し、工夫するかが大切になります。一人ひとりが持っている多様な「良さ」の中で、子どもたちは磨かれ鍛えられます。教育委員会においても、子どもたちの経験を広く豊かにするような方策をさらに工夫しなければなりません。と考えています。

—人口減少の歯止めは後藤町長の公約でもありますが、教育委員会としてどんな協力ができるか

考えていますか？

教育委員会として、この問題に即時的・直接的に効果をあげることは難しいです。ただ、若い人や次世代を担う小中学生に飯豊の良さを知り、愛し、誇りを持ってもらうことが、教育委員会の役割の一つと考えています。素晴らしい歴史・文化・産業などの地域資源を共有できる施策の具現化や、飯豊町の教育の良さを町外に発信していくことなどが重要です。中学生は十年後には子育て世代となります。若いうちから「飯豊町はいいところだ」という種を持っていけば、いったん町外に出たとしても、いざれ飯豊町に住みたいという気持ちが生ええると思うのです。

—子どもたちの安全・安心な環境づくりが求められています。保護者だけでなく、地域の皆さんにどのような協力をお願いしたいですか？

本町はおかげさまで、保護者の皆さんだけではなく、ほかの多くの方々の協力をいただいて子どもたちの安全確保に大きな効果をあげています。この関係を継続させることが大切です。地域の皆さんには引き続き、交通事情や環境の変化など、気づいたことがあればささいでも学校や教育委員会に情報をお寄せください。また、最近はいンターネットや携帯電話による悪質な事件が社会問題となっています。地域の大人がさらに関心を高め、子どもたちが事件に巻き込まれないように守る必要があります。



さとう・はるき◎飯豊町教育委員会教育長。1950年12月、中生まれ。73年4月から教職に就き、中津川小中、米沢市立松川中、置賜教育事務所などを歴任。09年3月飯豊中学校校長を最後に退職。同年4月から現職。教育者としてのモットーは「信愛」。教師と子どもとの信頼と愛情の関係が大切と考える。趣味は木工で、自らいすやテーブルを作るなど器用な一面も。中在任。

平成21年度 町政と予算

今こそ地方再生の推進を



写真／原則週1回開かれる課長職級の管理職会議。施策推進に向けて意見が交わされる

平成21年度

施政方針

社会システムの大きな転換期
飯豊町は、地方再生に向けた施策を展開します

「長期的展望を持って予算編成」

昨年十月の町長選挙において、多くの町民の皆様のご支援により初当選を果たさせていただき、十一月七日より就任いたしました。

平成二十一年度予算は、私の政治理念に基づき町民の皆様とお約束した施策を具体化するスタート台であります。行財政改革に加え、世界的な経済不況の中で財政運営の将来を見通すことは極めて困難な状況ですが、長期的展望と志をもって前向きに取り組みさせていただきます。

政治公約を実現し、多くの町民の皆様の期待と要望に応えるため、早期に実現可能なものは即予算化し、中長期的な課題については将来に向けて種を蒔くということを基本姿勢として、町政運営にあたります。

「資源循環型社会への移行期」

現在進行しています急激な経済不況は、百年に一度と言われるような単なる景気循環現象の一つではないように感じています。

これまでの、グローバル化や規制緩和などの構造改革と、市場に過度に依

存していく経済システムに一定の節度を持たせ、地域の資源や歴史文化を大切にし、みどり環境と資源循環型の人間中心の社会システムへの移行を示唆する、大きな転換に向かう時代の到来であると認識しています。

「地方再生の推進」

今までの多くの努力にもかかわらず、都市に人口が集中して地方に様々な格差が生じている現状があります。これからは、そのような状況を反省し、格差を是正し地方を再生しようとする新たな胎動が始まったと判断しています。その意味で転換の時代の到来は、これまで進めてきた飯豊の「まちづくり」の基本方向が正しかったことの証明であり、今こそ地方の底力を発揮するべきであると考えています。

平成二十一年度の町政運営および予算執行にあたっては、国の第二次補正予算に盛り込まれた経済不況対策や生活対策関連予算と平成二十一年度予算との整合性を図り、計画的かつ効率的な執行に努める所存です。

飯豊町長 後藤幸平

重要施策

実現のための3つの方針

『語り合うまちづくり』 『耕すまちづくり』 『育てるまちづくり』

今年度の重点施策の中から一部を抜粋して紹介します。

『語り合うまちづくり』

人口減少に歯止めをかけるための施策

- 「にぎわい再現プロジェクト」チームの立ち上げ
- 客船いいで未来号の旅事業
- 工業団地の造成や産業育成による雇用の拡大や住宅団地の造成による若者の定住対策を検討
- 総務企画課にプロジェクト推進室を設置

暮らしの利便性を向上させるための施策

- 地上デジタル放送への切り替えによる難視聴対策
- 町道南館深淵線など3路線を新設改良
- 「意欲と活力ある道普請支援事業」の継続
- 将来も安心して供給できる水道システムの確立に向け、「飯豊町水道ビジョン（水道施設整備計画）」を策定

『耕すまちづくり』

町民所得の安定と向上のための施策

- 農作物の高付加価値化とブランド化推進
- 水田農業の経営確立と独自の生産調整支援
- 有機肥料センターに堆肥舎を整備し、良質な製品の供給と特別栽培米の普及を推進
- 木質バイオマス製造施設の整備
- どんでん平ゆり園など第三セクターの経営改善

【新規事業の概要と予算額】

- **にぎわい再現プロジェクト事業／212万円**
にぎわい再現プロジェクトチームを公募により募集し、「にぎわい再現」に向けた検討を開始する。最初の事業として「客船いいで未来号の旅事業」を計画。新潟一小樽間を航海し、その洋上で町の未来について語り合う。
- **生産調整支援事業／2900万円**
国・県が示す米の生産調整量を達成するための事業。転作に伴う国の交付金は大規模農家ほど多いため、町独自の助成金を出すことでその格差を縮め、転作の推進を図る。
- **木質バイオマス製造施設整備事業／9400万円**
森林資源の活用と地域の活性化を目指し、中津川地区に木質

行財政改革と住民サービスの向上を両立させるといった目標に向かって、住民のために働く行政であることを職員全員が認識し、住民の期待にこたえる公平で公正な行政運営に努めます。

『育てるまちづくり』

安心して子どもを出産して育てる環境づくりの施策

- 乳幼児保育人数を増員
- 学童保育について、いいで中部幼稚園から第一小学校へ移行するとともに、新たに手ノ子幼稚園でも開設
- 保育園の保育料引き下げ
- 標準的な妊婦健診の費用を原則無料化

高齢者が安心して暮らせるための環境づくりの施策

- 町内2箇所为国保診療所の機能を堅持
- 健診事業や生活習慣病予防事業・各種予防接種を継続
- 高齢者の肺炎球菌ワクチンの接種に対する助成
- デマンド交通事業（ほほえみカー）の継続

町民の生命と財産を守る防災対策

- 消防団や自主防災組織などの関係機関と連携し防災意識の高揚と訓練を実施

次世代のまちづくりへ着手

- 平成23年度から10年間にわたり町政運営の指針となる「第4次飯豊町総合計画」の策定を開始

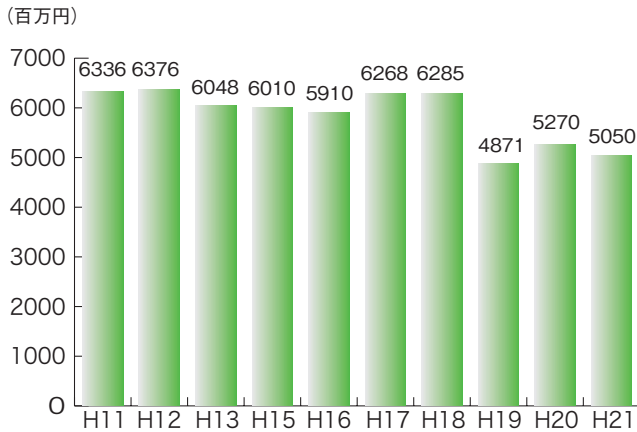


安心して子どもを出産して育てることが出来る環境づくりは、「にぎわい再現」の重要なカギとなる

バイオマス製造施設を整備。施設ではペレットやおが粉の生産などを行う。6月末ごろ着工、11月完成予定。

- **保育料値下げ**
第2子の保育料を現行の2分の1から3分の1に、第3子については無料とする。町民税非課税世帯や母子家庭についても保育料の引き下げを行う。
- **肺炎球菌ワクチン接種補助事業／15万円**
肺炎球菌ワクチンとは、肺炎球菌によって引き起こされるいろいろな病気（感染症）を予防するためのワクチン。高齢者を対象に、通常7,000円～8,000円の接種料のうち、約3,000円を補助する。

一般会計当初予算の推移



平成21年度 町政と予算

最小の経費で最大の効果を

予算編成の基本方針

重点的・効率的に配分

「最小の経費で最大の効果をあげる」という行財政の基本に立ち返り、既存事業を見直すとともに、当面する課題については重点的かつ効率的な配分につとめました。

このようにして編成した一般会計予算は、前年度に比べ五・〇割減の五十億五百万円となりました。

また、一般会計と特別会計、企業会計を合わせた町の予算総額は、前年度に比べ六・一割減の八十億一千八百三十三万円となりました。

一般会計予算

人件費は0.5%の減

歳入の中で主なものを見ると、町税は六億四千八百四十万円（昨年度対比二・六割減）で予算総額の一・三割、地方交付税は二十六億四千九百八十万円（前年度対比〇・八割減）で、五三・〇割を占めています。町の借金である町債は五億八千五百四十万円（前年度対比一・九割減）で一・七割を占めています。

歳出を性質別に見ると、人件費は予算総額の二一・〇割で、職員数の削減や町長、副町長、教育長の給与

の減額、管理職手当の減額、特殊勤務手当の支給停止の継続などにより、前年度より〇・五割の減となっています。また、公債費は予算総額の二四・八割で、前年度より一・八割の減となっています。

目的別の歳出では、労働費は、緊急雇用対策事業費等により三・八・四割の増、土木費は、町道改良事業費の増加などにより二・九割の増となっています。

また、総務費は、地域情報通信施設整備事業の完了などにより二・四・五割の減、農林水産業費は、木質バイオマス製造施設整備事業費の減少などにより一・〇・二割の減となっています。

特別会計予算

後期高齢者医療特別会計

前年度比7.0%の減

国民健康保険特別会計は事業勘定と直営診療施設勘定を合わせて約九億三千九百万円で、前年度に比べ一・〇割の減となっています。

後期高齢者医療特別会計は約八千六百万円で前年度に比べ七・〇割の減、老人保健特別会計は約四百万円で、前年度に比べ九五・九割の減、介護保険特別会計は約八億九百万円で、前年度に比べ三・二割の減と

なっています。

訪問看護特別会計は約一千七百万円で、前年度に比べ二一・二割の減、介護老人保健施設特別会計は約二億五千三百万円で、前年度に比べ二・〇割の増となっています。

財産区は五つの特別会計を合わせて約一千二百百万円で、前年度に比べ七・三割の減となっています。

農業集落排水事業特別会計は約五億三千七百万円で、前年度に比べ八・九割の減、生活排水個別処理事業特別会計は、約三千八百万円で、前年度に比べ二・二割の増となっています。

水道事業会計は、損益勘定と資本勘定を合わせて約二億九千二百万円で、前年度に比べ二・〇割の減となっています。

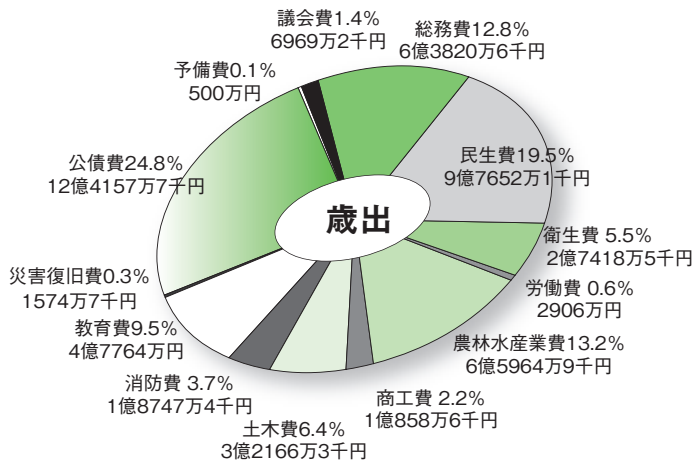
平成21年度 一般会計予算

50億 500万円

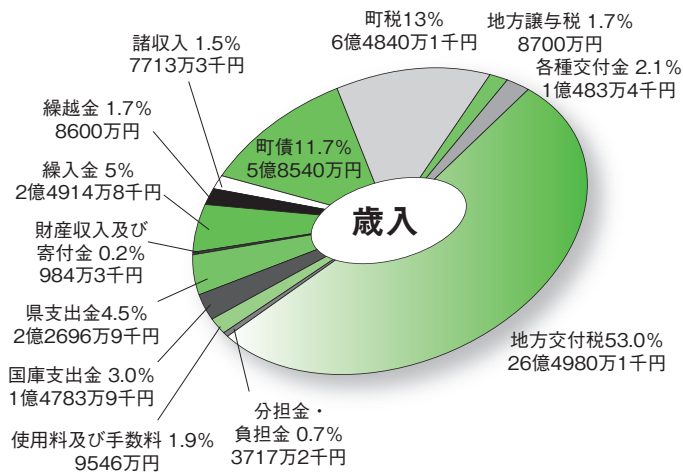
前年度当初予算から5%減

一般会計

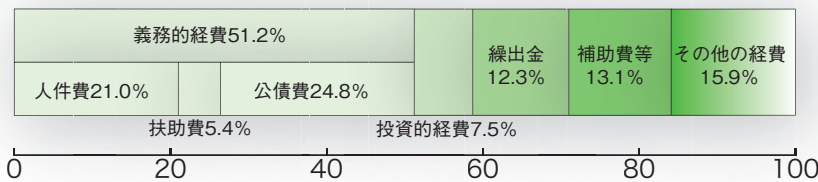
歳出 50億500万円



歳入 50億500万円



一般会計性質別内訳



特別会計決算 (単位：千円、%)

会計別	本年度予算額	前年度予算額	前年度対比
国民	809,716	919,588	▲11.9
健康保険	128,941	123,313	4.6
後期高齢者医療	85,679	92,119	▲7.0
老人保健	4,319	104,957	▲95.9
介護保険	809,328	836,427	▲3.2
訪問看護	17,359	21,988	▲21.1
介護老人保健施設	252,595	209,698	20.5
物品調達	20,529	20,593	▲0.3
萩生財産区	328	842	▲61.0
豊原財産区	394	394	0.0
添川財産区	3,203	2,940	8.9
豊川財産区	448	322	39.1
中津川財産区	7,201	7,992	▲9.9
農業集落排水事業	536,631	589,024	▲8.9
生活排水個別処理事業	37,785	36,986	2.2
水道事業			
損益勘定	195,482	189,990	2.9
資本勘定	96,895	108,265	▲10.5

町民一人当たりの予算額

(平成21年3月31日現在の人口8,393人)

一般会計予算額 596,330円
(全体 / 50億500万円)

町税負担額 77,255円
(全体 / 6億4840万1千円)

町債(借入)額 69,749円
(全体 / 5億8540万円)

親子の肖像

mother & daughter



母と娘で作上げた紙芝居

長沼奈美さん 花子さん

Naganuma Nami & Hanako

写真／母親の奈美さん（左）と娘の花子さん（右）

母は娘の成長を知り 娘は母を誇りに感じた

平成十九年度の山形県自作視聴覚教材コンクールで、長沼奈美さん（椿）は、紙芝居『たなばた物語』で最優秀賞を受賞している。仙台市在住の友人、加藤千恵子さんとの共同創作だった。

そして奈美さんは、平成二十一年二月の同コンクールに向けた創作の相方に娘の花子さん（当時高校二年）を選んだ。幼いころから絵を描くことが大好きだった娘の実力を見込んでのことだった。

「出品の締め切りとテスト期間が重なってしまって、私から『どうか描いてください』と頭を下げてお願いする場面もありました」と奈美さんは笑って振り返る。

題名は「なおとくとくとさくらさん」。幼稚園に通う男の子の成長の物語。話の鍵となる「桜の木」には、二人の共通した思いがあった。「私が小学四年生のときに校長先生から、桜の木は、夏は炎天下に緑の涼しい木陰をつくり、冬は寒さと雪の重みにじっと耐え、そして春に美しい花を咲かせるんだよと聞いて、それがずっと私の胸中にあっただんです」と花子さん。一方、奈美さんは「桜をモチーフにした作品を作りたい」とずっと

と考え続けていた。

親子の思いが合致すると、紙芝居の共作が始まった。まず奈美さんがシナリオを書き、その内容を二人で議論する。今度は出来たシナリオに対してどのような絵を描くかを議論した。そこが一番苦労したところだったと二人は言う。

「母の思う絵のイメージと私が思うイメージとを一致させるまでが大変で、二人でジェスチャーをしながら絵の案を練りました」と花子さん。そして奈美さんは「子どもたちにどうやったらわかりやすく伝わるのかを優先に二人で考えました」と語る。

創作中の会話の中で「自分のしっかりとした意見や考え方を持っていることを知り、彼女の成長を実感できたことも大きな収穫でした」と奈美さんは語る。

次回の共作は？との質問に、「母のシナリオを見てから考えます」と笑って答える花子さん。しかし、時折母に向けるまなざしは尊敬の念にあふれていた。

コンクールの結果は入選。二年連続の最優秀賞は果たせなかった。しかし賞以上に、二人は大切な宝物ができたことに満足している。

長期山村留学生修了式
20.March.2009

大川有菜さん

Okawa Arina

辺田李さん

Heta Minori



中津川で得た 5つの宝物を 胸に抱いて

写真／中津川小中の梅津校長と峯田教頭に感謝の花束を手渡す大川有菜さん(左奥)と辺田李さん(左手前)

一年間「欠席なし」のがんばり 励まし支えた中津川の人たち

三月二十日、中津川地区公民館には、小学校の友達、先生、地域の人たちが集まり、二人の少女の一年間のがんばりを称え、涙と共に拍手が鳴り響いていた。

長期山村留学第四期修了式。大川有菜さん(当時五年生)と辺田李さん(当時四年生)は、昨年四月から埼玉県川口市の親元を離れて、一年間中津川地区で過ごした。有菜さんには、鈴木泉さん・るみさん(上原)が、李さんには、五十嵐文雄さん・京子さん(白川)が里親を務めた。二人はそれぞれの家で寝食を共にし、そこから学校に通い続けた。

「るみさんを『お母さん』と呼ぶ有菜の姿を見て少しやきもちを焼きました」と修了式で有菜さんの母明子さんは正直な気持ちを語ってくれた。それほど有菜さんは、中津川の家族に打ち解けていたし、この状況は李さんも同じだった。修了式では、山村留学運営委員長も務める鈴木るみさんから二人に修了証が手渡され、やり遂げたという充実感の表情で二人はしっかりと受け取った。

「中津川小に来たときは、あいさつがしっかりできる学校だとい

うことに驚きました。毎日が楽しくて中学校を卒業するまでいたい気持ちでした(有菜さん)。「雪祭りでの巨大紙風船の打ち上げがとても印象に残っています。友達と遊んだ毎日はとても楽しかったです(李さん)」と二人は中津川の日々を振り返った。

「けんかしながら本音で李と向き合うことができました。皆さんの励ましと支えに感謝すると共に、里親をやってよかったと実感しています」と語った五十嵐文雄さんの表情にはどこか寂しさが伺えた。式の中で中津川小中学校の梅津校長は、震える声で二人にはなむけの言葉を送った。

「二人はこの一年間で五つの宝物を得ました。第一に多くの友達や地域の人たちとの『出会い』。第二に大黒舞や一輪車など初めての『体験』。第三に一年間無欠席で『磨かれた力』。第四にいつ来ても迎えてくれる『ふるさと』。第五に家族の存在の大きさへの『新しい気づき』。この宝物を胸に抱いてこれからの人生を歩んで欲しい」。中津川で得た五つの宝物をお土産に、二人は川口市で新しい生活をスタートさせた。

かけがえのない命を守るため

町民スポーツセンターにAED設置

万が一の事故に備え、町民スポーツセンター（飯豊中体育館）にAED（自動体外式除細動器）が設置されました。AEDとは、事故などで心肺停止状態に陥った人の心臓に電気ショックを与えて、正常な状態に戻す医療機器で、一般の人でもできる救命処置として全国的に普及が進められているものです。

AEDの設置を受けて、3月5日、飯豊中では全校生徒を対象に操作方法を学ぶ講習会が行われました。消防署飯豊分署の救急救命士が講師となり、練習用の機器と人形を使って心肺蘇生法などを指導しました。救急救命士から「勉強と同じくらいAEDの操作を学ぶことは大切なことです。いざというときに命を救うのは君たちです」と話され、生徒たちは真剣な面持ちで訓練に臨んでいました。

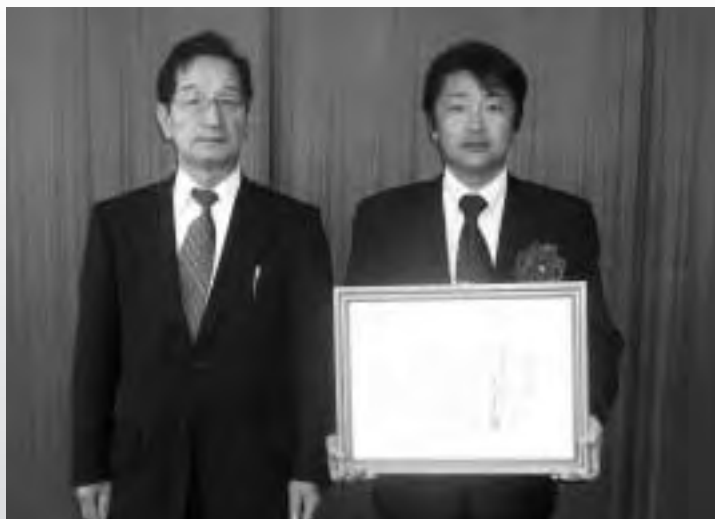
参考

町内のAED設置場所

役場庁舎、健康福祉センター、介護老人保健施設「美の里」、白川荘、西部地区公民館、なでしこハウス、町民スポーツセンター



(写真上) 消防署飯豊分署職員からAEDを使った心肺蘇生法を学ぶ飯豊中生徒
(写真右) 運動中の事故から命を守るため体育館内にAEDが設置された



(写真上) シンポジウム会場で、賞状を手にする大友雅彦さんと中津川地区公民館の伊藤清一さん
(写真左) 昨年のSNOWえっくフェスティバルの様子



参考

SNOWえっくフェスティバル

7月下旬に白川ダム湖岸公園を会場に開催される「真夏の雪祭り」。雪上でのゲームや花火大会などが行われ、毎年町内外から多くのお客さまでにぎわう。

やまがたゆきみらい大賞を受賞

SNOWえっくフェスティバル実行委員会

3月19日、村山総合支庁北庁舎（村山市）で、やまがたゆきみらいシンポジウムが開催され、その中で栄えある第1回やまがたゆきみらい大賞を、中津川地区のSNOWえっくフェスティバル実行委員会を受賞しました。

この賞は、地域の特性を生かしながら、雪に関連した取り組みや、雪国における先駆的で他地域への良き事例となる活動の実績のあった個人や団体に表彰されるものです。

雪室の雪を利用して夏に行うイベントとしての珍しさと地域住民が一体となって平成3年から継続して開催してきたことなどが高く評価され、SNOWえっくフェスティバルが大賞に選ばれました。代表として会場で表彰を受けた大友雅彦さん（川内戸）は、「イベントを支えてくださっている中津川地区の皆さんのおかげで大賞受賞となりました。これからも地域の活性化のため、みんなで力を合わせて盛り上げていきたいです」と受賞の感想を語ってくださいました。



(写真上)日本風景街道に登録されたことを後藤町長に報告する井上俊雄会長(写真左)昨年11月に手ノ子地区で行われた「宇津峠を歩こう会」の様子。十三峠の一つとして活性化が期待される

参考

日本風景街道の登録数

全国/105ルート

東北地方/17ルート

◆詳しくはホームページで

日本風景街道

検索



歴史的地域資源を観光振興に

越後米沢街道・十三峠が日本風景街道に登録

越後米沢街道・十三峠が、東北風景街道協議会が主催する「日本風景街道」に登録され、3月10日に登録証が伝達されました。

越後米沢街道(十三峠)は、1884年に新道(新潟山形線)が開通されるまで置賜地域と新潟県下越地域を結ぶ経済・文化・戦略上、重要な街道でした。また明治11年には、英国の旅行家イザベラ・バードが通過したことでも有名です。

置賜3町(飯豊・小国・川西)と新潟県関川村の民間団体や関係機関で組織する「越後米沢街道・十三峠」交流会(井上俊雄会長・手ノ子)が、観光振興の一環として、登録の申請を行ったものです。

日本風景街道とは、日本列島の美しさを発見、創出し、景観・歴史・文化などの地域資源を生かした原風景の創出を目指す全国的な運動です。

井上会長は「これを契機に、より一層街道と峠にかかわる町村が連携して広域的な観光振興に努め、地域の活性化につなげたいです」と今後の抱負を語っていただきました。

横浜市で堂々の発表

嶋貫政子さん全国家の光大会出場

2月9日、神奈川県横浜市で開催された第51回全国家の光大会・都道府県代表発表大会(JAグループ社団法人家の光協会主催)に、嶋貫政子さん(萩生)が山形県代表として出場し、家の光の記事を活用したボランティア活動を発表しました。

嶋貫さんは、「自作自演で農村スター～多くの人に笑顔と元気を～」と題し発表。同じ地区内の60歳代の女性の仲間8人と共に「ひまわり会」を結成し、自作自演の寸劇や踊りを披露して、地域のお年寄りの皆さんに笑いと元気を提供してきたことを報告しました。

「10分間の制限時間に合わせて発表するのが一番難しかったです」と嶋貫さん。それでも堂々の発表で「飯豊町の元気なお母さん」を印象付けることができました。残念ながら東日本地区の選抜はなりませんでしたが、「これからも町内に笑顔と元気を提供しつづけます。そのためには自分たちが笑顔であり続けることが大切だと思います」と大会後の感想を話していただきました。



堂々の発表で「飯豊町のピーアールができました」と語る嶋貫政子さん(左)と陰で支えたJA山形おきたま飯豊地区女性部長遠藤美恵子さん(右・添川)

まちかどニュースは、皆さんの広場です。
地域のできごとやご意見などお気軽にお寄せください。
総務企画課総務情報室まで ☎72-2111内線224



いいで学講座「地域の自立と協働」活動団体報告会

独自のまちづくり活動を報告

3月1日、めざみの里観光物産館で、「地域の自立と協働」活動団体報告会が行われました。中津川むらづくり協議会、高峰地域づくり推進委員会、キッズワールド、P-TAN、ふるさとお宝発見隊の5団体が、独自のまちづくり活動について報告。会場に集まった100名の参加者は、熱心に聞き入っていました。その後、食生活改善推進員の皆さんが料理した「いいでの恵みを食べる会」の試食会がありました。

飯豊町酪農組合婦人部健康教室

牛乳をしっかりと飲みましょう



3月10日、東部地区公民館に、町内と長井市の酪農家の女性7人が集まり、健康教室が行われました。はじめに町の栄養士から栄養に関する講話があり、成人には1日600mgのカルシウムが必要で、牛乳は効率よく摂取できる食品であることなどの話がありました。その後、「骨粗しょう症予防のためのカルシウムたっぷり料理」として、チーズなどの乳製品を使った料理4品を作り試食しました。

第10回大黒舞交流会

不景気を跳ね返す祝福の踊り



3月8日、いいで旅館で、第10回大黒舞交流会(長谷川きよ会長・黒沢)が開かれました。県内から13団体約130名が参加。長谷川会長は「若い人にも踊ってもらえるように、これからはがんばって踊り続けましょう」とあいさつしました。各団体は趣向を凝らした鮮やかな衣装を身にまとい、日ごろの練習の成果を発表。和やかでめでたい雰囲気の中、大黒舞の愛好家たちは交流を深めていました。



未来につなぐ“いいで”フォトコンテスト表彰式

飯豊の景観をこよなく愛して

3月29日、めざまの里観光物産館で町制施行50周年記念事業「未来につなぐ“いいで”フォトコンテスト(プロによる審査の部)」の表彰式が行われました。町内外から応募のあった214点の作品中、最優秀賞には相沢功さん(福島市)の「春の一日」(本号裏表紙に掲載)が選ばれました。入賞作品18点は、5月のゴールデンウィーク明けまでめざまの里観光物産館で展示されていますので、どうぞご覧ください。

鈴木二三子先生の気象講演会

気象予測を農業に生かす



3月15日、めざまの里観光物産館で、日本気象学会会員の鈴木二三子先生(福島県西会津町)による気象講演会が開かれました。これは、年間の気象予測を農業に生かしてもらおうと、毎年開催されているものです。会場には、農業者など約80名が参加。6月は梅雨入りが早めで低温に注意すること、7月は高温多湿で日照不足になりやすいことなどの予測があり、参加者は熱心にメモをとっていました。

添川小の児童が車椅子を寄贈

みんなの力で集めた資源ごみ



3月5日、添川小の児童たちは、回収したアルミ缶などの資源ごみを資金源に、車椅子3台を購入し、うち2台をひめさゆり荘に贈りました。添川小で行われた贈呈式では、児童会環境委員の皆さんが代表し、「家族や地域の皆さんのおかげでたくさん資源ごみを集めることができました」とあいさつ。ひめさゆり荘の島貫一郎施設長は、「大切に使用させていただきます」とこたえました。



農商工連携まちづくり講演会
(めざまの里観光物産館)



萩生駅愛護会 鉄道利用者拡大
イベント (萩生駅)



中長生会わらじ作り
(中公民館)

直伝おふくろの味



ぱりぱりの食感と程よい甘辛さ

大根のしroyu油漬

【材料】

◇大根	4 器
◇ざらめ	750 <small>g</small>
◇みりん	1 合
◇しょう油	4 合
◇たかのつめ	少々

【作り方】

- ①皮をむいた大根を2センチ幅の輪切りにし、漬物樽なまに入れる
 - ②ざらめ、みりん、しょう油、たかのつめを鍋に入れて、ざらめが溶けるまで煮立てる
 - ③②を①にかける
 - ④③に重しをのせ一晩置く
 - ⑤④から汁が上がってきたら、その汁を再度鍋に入れて煮立てる
 - ⑥再び⑤を大根にかけて、さらに一日漬けて出来上がり
- ※漬け過ぎるとしょっぱくなりすぎてしまうので気をつけてください。

初めて漬物にチャレンジする方にお薦めです

南陽市の友達に教えてもらった漬物です。ぱりぱりの食感と味の良さです。すっかり我が家の定番の漬物となりました。また、地元の寄り合いに持って行っても皆さんから大好評でした。

同じ大根の「ささがき」と違って、切る手間も楽ですし、たった二日で作れますから、「漬物にチャレンジしたい」という方には、この一品から始めてみてはいかがでしょうか。臭いが少ない漬物ですから若い人にも抵抗は少ないと思います。

大根は、直径五センチ程度の太さのものを選ぶとよいでしょう。輪切りにするだけで、食べやすい大きさととなり、さらに切る手間が省けます。



萩生地区
食生活改善推進員
國分トモさん



- 役場教育文化課子育て支援室
TEL72-2111内線160、163
- こどもみらい館
TEL72-3336

教育文化課
子育て支援室からのお知らせ

◎こどもみらい館をご利用ください

幼児や児童生徒の遊び場、子育て仲間の交流や子育ての相談の場として気軽にご利用ください。急な用事ができたときの「一時保育」も行っています。

♠開館日／月曜日～金曜日、第1・3土曜日

※ただし、祝日と第1・3月曜日は休館日です

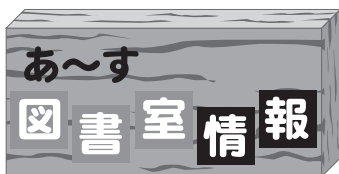
♠開館時間／午前9時～午後5時

♠利用料金／無料

※場所は、3ページの「施設の位置図」を参考ください

こどもみらい館の予定表
(4月・5月の日程)

4月15日(水)10:30～	おはなし広場
21日(火)10:30～	あそびの広場
30日(木)10:30～	かんがるー広場
5月3日(日)～6日(水)	は休館日です
13日(水)10:30～	おはなし広場
16日(土)10:30～	ブックスタート広場



今月のおすすめ図書



児童図書

「ランドセルのはるやすみ」

村上しいこ／さく 長谷川義史／え
PHP研究所

「わたしもえんそく、つれていって
くれませんか」遠足の日、ランドセル
がそんなことを言い出した。学校
への行き帰りだけではさみしいと言
う。けんいちがランドセルを遠足へ
連れていくが…。



児童図書

「たすけて！」

ホリー・ケラー／作 福本友美子／訳
光村教育図書

「ヘビはネズミをいじめる」というう
わさを信じたネズミは、友だちのヘ
ビをこわがるあまり、穴に落ちてし
まった。足を怪我して動けないネズ
ミを助けてくれたのは…。

一般図書



「米村傳治郎のおもしろ科学ライブラリー」

大沢幸子／著 米村傳治郎／監修
オーム社

身のまわりにある道具を使う実験を
多数紹介しつつ、その実験の根拠と
なる原理までをわかりやすく解説。
子どもから大人まで、楽しく科学を
学べる科学実験集。

一般図書



「ロロ・ジョングランの歌声」

松村美香／著
ダイヤモンド社

東ティモールで殉死した従兄の後を
追い、記者になった菜々美は、中部
ジャワ地震の被災地の取材で、単純
な正義では語れない国際協力の表と
裏を知る。さらに従兄の死をめぐる
疑惑が浮上して…。国際協力の実
像を描く問題作。

- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 毎週月曜日・祝日・年末年始
- 問合せ先 町民総合センターあ～す図書室
TEL72-3111

瞳輝くめざみっ子たち (NO. 35)

〈中津川小中学校〉

一人ひとりが主人公 磨かれた伝統の技を披露

2月に行われた中津川地区雪まつりには、地区内外からたくさんの方が集まりました。地域の方々はもとより、多くのお客様方に元気と勇気を届けられたと思います。



小学生の大黒舞、中学生のヨサコイは、代々受け継がれた伝統であり、一人ひとりの宝物です。一人ひとりがスポットライトを浴びて、主人公になった瞬間です。子どもたちの踊りには、人の心を揺り動かす大きな力が秘められています。雪まつりが終わると、中津川にも春の足音が聞こえ始めるのです。

ふるさとから学ぶ

中津川にはたくさんの宝物が埋まっています。中津川の伝統や文化に触れ、中津川の宝物を再発見するためにふるさと学習が毎年行われています。今年度は、岩倉地区の歴史を学ぶとともに体験学習として、「わら草履」づくりを行いました。当日は、岩倉地区より、児童生徒のおじいちゃん2人を講師にお招きし、熱心に指導いただきました。講師の方々の見事な技に驚きながらも、子どもたちはとても素晴らしい作品を作りました。見事なわら草履の完成です。



学校はみんなでつくる

小学校では児童会反省会、中学校では生徒会総会が行われ、1年間の振り返りと来年に向けての課題が話されました。昨年の春とは見違えるような、児童生徒の成長の跡が見られました。一人ひとりの真剣な瞳の輝きには、みんなで学校をつくるという強い意気込みを感じました。



終わりに

中津川の子どもたちの溢れるエネルギーは、寒い冬の間に春を待つ「冬芽」のようです。雪に囲まれた冬の間に、たくさんの力を蓄えて春を待ちわびます。この力が、春の訪れとともに大きな大きな力となって一斉に芽吹きます。そして、春の温かい日差しを浴びて、より大きく成長していくのです。心も体もたくましく、中津川の大地に根をはってほしいと思うこのごろです。

※「瞳輝くめざみっ子たち」は、次号よりお休みします。

小白川獅子連 子ども獅子育成講座

子どもたちに獅子舞を継承

小白川神社獅子連(鈴木秀樹会長)の会員十六名が、祭りの楽しさと伝統行事の大切さを地元の子どもたちに伝えようと、今年一月から三月まで全五回の日程で子ども獅子連育成講座を行いました。園児から小学五年生までの子どもたち十九名は、笛、太鼓、獅子に分かれて、会員の方からそれぞれ指導を受けました。

三月二十二日の最終日には、小白川公民館に保護者の皆さんを招待して練習の成果を発表。大きな拍手が送られ、子どもたちからは「難しいところもあったけど楽しかった」などの感想が聞かれました。最後に鈴木会長から子どもたちにごんばりの証として修了証が手渡されました。



手作りのダンボール製獅子で練習をする子どもたち

『還暦を祝う会』に参加して

埼玉県三郷市在住

宇田京子さん（松原出身）

to my home town

前略
ふるさと様

173

昨年六月の善き日に、飯豊中同級生による「還暦を祝う会」がフォレストいいで開催されました。東京飯豊会からも十数名参加し、総勢八十名からなる会は、恩師でもある西山俊一宮司のご祈祷から始まりました。厳かに朗々と響き渡る力強い声に、今まで生きてくることができたのもろもろへの感謝とこれからの役割に思いをはせ、思わず頭を垂れたのでした。

この度の同窓会は実行委員のご苦労がうかがえる盛りだくさんなもので、中でも最も印象深いものは飯豊中学校の庭に桜を植樹したことです。

正面玄関を望む一本の桜の木は、私たちが「日々明朗 日々努力」の精神で学んだことの証でもあり、また、これから毎年新入生を温かく迎えてくれるはず。いつまでも成長して咲いていてと願いました。

次に訪れた所は「美しい日本のむら景観コンテスト」で最高賞に輝いたという田園散居集落の展望台。芳しいチップを敷き詰めた道を歩きだどり着いたところに「それ」がありました。

「ワー」という歓声があり、その景観を目の当たりにしたとき、故郷の友が教えてくれたことを思い出したのでした。かつてイギリスの紀行作家イザベラ・バードが置賜地方を旅行した際にその風景を東洋のアルカディア（桃源郷）と讃えたとのこと。女史も言っています。人々の勤勉さ、優しさ、いにしえから変わらぬ風景、美しいまち、飯豊町を再確認した帰省となりました。

※本町ご出身で首都圏在住の方々で組織している『東京飯豊会』会員からのご寄稿です。

※「前略ふるさと様」は、次号よりお休みします。

連載

随想

町長の思つて歩る記

後藤 幸平



「みんなに乾杯！」

作品の内容は書き出しで決まる、などといひ話をした作家がいます。そんなことを知ってしまったからは書き出すまでが大変になりました。

「四里の道は長かった。その間に青緋の市のたつ…」で始まる田山花袋著「田舎教師」。大志を抱きながらも若くして寒村の土に返る青年教師の物語は、書き出しの文章の印象が作品の全てを物語っている名作といわれています。その作品の結末ほど心に残るものはありません。我が子が教師になることだけを励みに生きてきた両親は、別れの日の翌朝、また何事もなかったかのようにリヤカーを引き行商に歩き出すのです。

そんな無常観、失意のなかにあっても淡々と生きる人々の日常と人生観にとっても惹かれてきました。どんなときにも夜明けがあり朝が来る、朝が来ればまたリヤカーを引き明日に立ち向かおうとする力強さ、庶民や人間の真髄に触れる感慨です。たくましく生きる勇気を奮い立たせて

くれるのです。

NHKの人気番組に「家族に乾杯」があります。ご存知、笑福亭鶴瓶さんが日本各地の村や町を訪れて、一人暮らしのおばあちゃんや笑顔をも引き出します。彼が訪れた村や町はそれまでなかった「笑顔とにぎわい」を取り戻しているといひます。

私たちが「にぎわい再現」をテーマにこれからいろんなハードルに立ち向かい峠を越えて行こう、「にぎわいと幸せの青い鳥」を探し出そうと歩き出しました。何よりも鶴瓶さんのように「みんなの持ち味を引き出す町」にならなくてはならないと思ひます。

魅力ある町であるには、お祭りやイベントも大切な要素ですけれども一番大事なのは日常の暮らしの中にあふれる井戸端の活気や明日に立ち向かうたくましい歩みと笑顔のなかにあふれるように思ひます。

みんなに乾杯！

飯豊町役場

電話 0238-72-2111

FAX 72-3827

ホームページ www.town.iide.yamagata.jp

Eメール iideinfo@town.iide.yamagata.jp



「あ～す」	☎72-3111	社会福祉協議会	☎72-3353	東部地区公民館	☎74-2447
町健康福祉課	☎86-2233	ひめさゆり荘	☎74-2011	西部地区公民館	☎75-2111
介護老人保健施設	☎86-2117	スポーツセンター	☎72-3086	中津川地区公民館	☎77-2020
国民健康保険診療所	☎72-2300	中部地区公民館	☎72-2126	飯豊駐在所	☎72-2245
附属中津川診療所	☎77-2330	白樺地区公民館	☎72-2242	中津川駐在所	☎77-2110

善意の毛布をアフリカへ

アフリカの被災民や難民に「命の支え」となる毛布を送ってください。現地の人たちの手に届くまでの海外輸送費900円のご協力をあわせてお願いします。

◆受付期間／5月31日(日)まで

◆収集キャンペーン

◇日時／5月9日(土) 10:00～13:00

◇場所／長井市民文化会館南口駐車場

◆問合せ先／「アフリカへ毛布を送る運動」置賜地区実行委員会(田村)

☎88-3143

防衛省・自衛官募集

◆募集種目・応募資格

①一般幹部候補生

○20～26歳未満の方

※22歳未満の方は大学卒

※大学院修士取得(見込含)は28歳未満の方

②一般曹候補生

○18～27歳未満の方

③予備自衛官補

○一般公募／18～34歳未満の方

○技能公募／18歳以上で保有する技能に応じて53～55歳未満の方

◆日程

①受付：5月12日(火)まで

試験日：5月16日(土)

②受付：5月12日(火)まで

試験日：5月23日(土)

③受付：4月13日(月)まで

試験日：4月18日(土)

◆問合せ先／自衛隊米沢地域事務所

☎0238-23-0011

ギャンブル依存症と多重債務講演会

◆日時／4月18日(土) 13:00～

◆会場／アズ七日町5階和室(山形市)

◆日程

①被害者の会定時総会 13:00～

②講演 13:30～

講師：大谷大学 滝口直子先生／高松あすなろ会 鍋谷健一先生

③多重債務無料相談会 15:30～

◆相談内容／サラ金やクレジット会社からの借入れに関する悩み

◆問合せ先／司法書士 佐藤正弓

☎0233-22-0352

学生就職ガイダンスのお知らせ

◆日時／5月1日(金) 13:00～

◆会場／山形ビッグウィング(山形市)

◆内容／複数の企業と個別ブースにて面談ができます。そのほか職業相談コーナーなども設置

◆問合せ先

山形県若者就職支援センター ☎023-647-0363 または 山形労働局職業安定課 ☎023-626-6109

交通事故で困ったときの無料相談

交通事故での困りごとについて、専門の相談員が相談に応じます。

◆相談日／月曜日～金曜日(祝日除く)

◆時間

9:00～12:00、13:00～17:00

◆その他／毎月第1、第3水曜日に弁護士による無料相談も行っています。予約制・面談制ですので、下記まで事前に予約してください

◆問合せ先／(株)日本損害保険協会山形自動車保険請求相談センター

☎023-633-0589

山形県では河川の里親を募集しています

◆活動団体／河川の清掃や植栽などの環境美化活動を行っていただける町内会、地域団体、市民団体、企業、そのほかのボランティア団体

◆対象区間／県管理河川・砂防おおむね200m以上

◆参加申込／参加希望の団体は、置賜総合支庁(西庁舎)にお問い合わせのうえ、申込書を役場地域整備課建設室まで提出してください

◆応募締切／4月30日(休)

◆問合せ先／置賜総合支庁建設部西置賜河川砂防課 ☎88-8232

地域の文化活動を応援します

置賜文化フォーラムでは、置賜地域の住民の皆さんが企画運営する文化イベントなどの事業を支援します。

◆事業種類／歴史的建物や遊休施設を活用した文化事業、市町の枠を越えた複数団体による文化事業、大河ドラマ「天地人」関連文化事業

◆支援内容／共催負担金(最大40万円)を負担します

◆募集締切／5月1日(金)

◆申込・問合せ先／置賜総合支庁地域支援課 ☎0238-26-6018

経済センサス基礎調査にご協力ください

経済センサスは全国すべての事業所・企業を対象とした調査です。これにより、日本の経済活動の実態を明らかにします。調査結果は、今後の皆様の暮らしの改善に役立てられます。

◆期日／7月1日(水)

◆問合せ先／役場総務企画課総務情報室 ☎72-2111内線225

こせきのまど
戸籍の窓

(3月届け出分)

ご結婚おめでとうございます

住所 氏名

(中 鈴木 譲 さん
白鷹町 五十嵐 里 美さん)

お誕生おめでとうございます

住所 氏名 ご両親

萩生 後 藤 柚 衣 ちゃん (博 貴美
麻 隆)

中 渡 部 幹 太 くん (清 隆
葉 葉)

中 小 浦 柚 葉 ちゃん (智 之穂
美 穂)

小川 舟 山 昂 佑 くん (康 貴子
郁 子)

手子 田 中 史 奈 ちゃん (由 紀
豊 紀)

心からおくやみ申し上げます

住所 氏名 年齢

- 中 北酒町 土 屋 純 一 さん 67
- 高峰 西向 鈴 木 潔 さん 81
- 萩生 石原 今 野 敬 司 さん 61
- 中 沖 菅 野 貞 造 さん 71
- 萩生 萩町 横 山 芳 洋 さん 71
- 手ノ子 萩 鈴 木 市 子 さん 62
- 萩生 萩町 木 村 健 吉 さん 90
- 添川 高 橋 ト ヨ さん 89
- 椿 椿第一 伊 藤 せ ん さん 86

※この欄に掲載を望まない場合は届出の際にお申し出てください。

人の動き

3月分 () 内は対前月比

世帯数	2,398 (3)	転入	28	
人	男	4,077 (1)	転出	35
	女	4,316 (-12)	出生	5
口計	8,393 (-11)	死亡	9	

5月21日から
裁判員制度が始まります



裁判員制度とは、国民のみなさんに裁判員として刑事裁判に参加してもらい、被告人が有罪かどうか、有罪の場合どのような刑にするかを裁判官と一緒に決めてもらう制度です。

裁判員制度が始まると、司法はもっと身近になります。

◎裁判員制度ってなに？

▲国民のみなさんが裁判員として刑事裁判に参加し、裁判官と一緒に有罪・無罪や刑の内容を決める制度です。原則、裁判員は6人、裁判官は3人です。

◎私も裁判員に選ばれるの？

▲20歳以上の日本国民であれば、誰でも選ばれる可能性があります。

◎仕事や育児・介護で大変です。辞退できますか？

▲ご自身の不在により著しい損害が生じる可能性があるなど一定の場合には辞退できます。

◎法律の知識がなくても大丈夫？

▲大丈夫です。裁判員は、事実があったかなかったか、どのような刑にすべきかを判断します。このような判断に法律の知識はいりませんし、必要なことは裁判官が説明します。

◎裁判員になったことでトラブルに巻き込まれますか？

▲裁判員の名前や住所などは公にはされません。事件に関して裁判員に接触することも禁止されており、裁判員やその家族を脅した者には刑罰が科せられます。

詳細は裁判員制度ホームページをご覧ください。

<http://www.saibanin.courts.go.jp/>

◆問合せ先/山形地方検察庁企画調査課 ☎023-622-5196

危険物取扱者・消防設備士
免状をお持ちの皆さんへ

消防法では、当該免状に貼ってある写真は、10年以内に撮影されたものでなければなりません。まだ写真を書換え申請をされていない方は、速やかに手続きをされますようお願いいたします。

◆問合せ先/消防試験研究センター山形県支部 ☎023-631-0761

天地人博2009のご案内

4月の米沢城址は桜が満開。この機会に天地人博2009をご覧ください。

- ◆日程/毎日無休で開催
- ◆会館時間/9:00~17:00
- ◆場所/伝国の杜・米沢市上杉博物館
- ◆入場料/一般700円、学生500円、小中生300円(団体割引あり)
- ◆問合せ先/伝国の杜・米沢市上杉博物館 ☎0238-26-8001

◇リニューアルした「広報いいで」はいかがだったでしょうか。リニューアルの目的は大きく三つ。①より一層町に對する自信と誇りを持つてもらいたい②若い人にも町の広報に目を通してもらいたい③町外に飯豊の魅力を発信したい▽そのためには未熟ながらも、印象的な写真とデザイン性の高いレイアウトを目指します。つづり穴をあけていないのもそのためですので、どうかご理解ください。今年度もどうぞご愛読ください。

(横山)



◆お詫びと訂正

三月十二日号の中に次の誤りがありました。

▽四ページの文中にありました横山哲夫さんの「年間三千五百点は撮るという写真」は、「年間三万五千点」の誤りでした。▽OMOI DE I Iで写真館「銃後之守如斯」の文中にありました「遠藤功さん」は「遠藤俊雄さん」の誤りでした。訂正しお詫び申し上げます。

Profile

おきつ・しんや◎洋画家。1947年、米沢市生まれ。山形大学教育学部在学中に画家真下慶治氏に師事し、本格的に絵画の勉強を始める。大学卒業後、教職に就き、08年3月米沢市立第四中学校校長を最後に退職。在職中、卒業生総計850名分の似顔絵を描き一人ひとりに贈ったことでも有名。77年一水会展初入選。88年第20回日展初入選。03年美の革命展インループル美術館グランプリ受賞。同年ル・サロン展初出品初入選。国内のみならず世界的美術界で活躍中。米沢市在住。

Shedule

7月1日-6日 / 山形大沼デパート「沖津信也個展」

洋画家 沖津信也
飯豊は「陽ひの出まちこまち」
飯豊の「美」を語る

『陽は昇る（飯豊町）』

1997年 F100 (約162cm×130cm)



沖津氏は国内外でも数少ない点描の技法を用いる画家である。一点一点丁寧に描かれた散居集落の絵には、心に宿る望郷の念を奮い起こさせる力がある

イ ザベラ・バードが『日本奥地紀行』に記した「東洋のアルカディア」とは、飯豊町のことだと私は思っています。明治時代に彼女が見た日本の原風景を今でも見ることができるとすれば、それは飯豊町だけでしょう。

町民の皆さんには、東洋一美しい景観であることに自信と誇りを持ち、いつまでも大切に守り続けてもらいたいのです。

私が飯豊の散居集落と出会ったきっかけは、十数年前、友人である田林眺一君（東北大学院心臓血管外科教授・飯豊町中出身）から「ふるさと中村の絵を描いてくれないか」と依頼されたことにあります。早速、中を訪れ、どこを描こうかと散策しているうちに、天養寺観音堂の展望台に登っていました。そして眼下に広がる散居集落の風景にすっかり魅せられたのです。その景観を描いた作品は、シリーズ作『陽は昇る』の中の主要な作品となり、おかげさまで日展やフランスのル・サロン展で入選をいただくことができました。まだ画壇ではだれも描いていなかった日本の原風景を描くことができたのは、私にとって幸運なことでした。以後、飯豊町のファンとなった私は中津川にも足を運ぶようになり、今では毎年のように置賜地方の画家仲間二十数名とともにホテルフォレストいいで宿泊し、みんなで周辺の絵を描くことが恒例行事となっています。

私が描く絵の中で大切なモチーフは

「太陽と水」です。いずれも生命に必要なものであり、人間に元気を与えてくれるものです。私は、「絵を見る人の心にも太陽が昇るように」との祈りを込めて描いています。明るく元気になるってほしいという願いです。

その太陽と水を描こうとするとき、飯豊町の散居集落ほどびっぴりな風景はありません。東の蔵王連峰から朝陽が昇り、水田に張られた水がきらきらと光照らされ、その水面には屋敷林が美しく映りこむのです。まさしく「陽の出まち」です。

光を描くことは、とても難しい作業です。私も何度も失敗を繰り返しながら描き続けました。点描という技法を用いて光を捉え、地道にこつこつと描きます。点と点は明暗の度合いによって絵を収縮したり拡張したりします。まるで画面全体で呼吸しているかのよう響き合うのです。そしてそれを統一のとれたものにまとめたとき、作品は正面から見ても、斜めから見ても明確に見える完成度の高い作品となります。また、絵を見る距離の長短によって異なった印象を受けるという面白さがあるのも点描の特徴です。

美しい農村風景は飯豊町にとって大きな財産です。この地域資源を生かす意味でも、春夏秋冬を通して散居集落を眼下に展望できる施設が整備されれば、きっと私のような画家や写真家が多数訪れ、町はにぎわうのではないかと思います。

【最優秀賞作品】



春の一日

(撮影場所／中津川地内)

写真は、平成20年度に開催されました「未来につなぐいいでフォトコンテスト」で入賞された作品です。

撮影者

相沢功さん (福島県福島市)

この度は、私の作品を選ばせていただき誠にありがとうございます。この作品は昨年5月に撮影しましたが、その際この地にお住いのご夫婦から、昔の集落の様子などお話を伺ったことを懐かしく思い出しております。飯豊町には白川湖など魅力一杯の風景があります。これから度々おじゃまをして写真にしたいと考えております。

写真家 佐藤秀明先生の講評

飯豊の遅い春を撮った素晴らしい作品です。残雪と人と桜がこの作品のすべてですね。遠景の若葉も美しい。せっかく良い天気と場所に恵まれたのですから下部の土よりも上部の新緑を多く入れてあげた方がよいでしょう。右下の畑の杭のようなものは無い方が、もっと素晴らしい作品になります。

